

組合設立にあたり、組合員の受注機会の拡大という、本来の組合の目的を目指すことに加え、組合として何か社会へ還元したいという思いも抱いており、今回の協定締結に結び付いた。

ごみ収集車が、年間を通じて市内全域を、決まった曜日、時間帯に同じルートを巡回することから、不審者や保護を必要とする人を発見しやすいという効果が期待される。

ごみ収集車が、年間を通じて市内全域を、決まった曜日、時間帯に同じルートを巡回することから、不審者や保護を必要とする人を発見しやすいという効果が期待される。

組合員のごみ収集車に設置しているドライブレコーダーの映像を、事件や交通事故の検査に活用することを盛り込んだ協定を、組合、桐生市、桐生警察署との三者間で締結。同様の協定は県内初。

桐生市ごみ収集委託業者における地域の見守り活動とドライブレコーダー映像情報の提供等に関する協定締結式



協定書を手にする福田理事長(左)

ドライブレコーダーで 検査協力

5月22日、桐生市役所において、組合員のごみ収集車に設置しているドライブレコーダーの映像を、事件や交通事故の検査に活用することを盛り込んだ協定を、組合、桐生市、桐生警察署との三者間で締結。同様の協定は県内初。

新型コロナ感染拡大防止が続く中、市民からごみ収集に対する感謝の声が組合に届くとともに、今回の中止に對して、地域からの励ましのエールも届いているとい

う。

群馬の伝統の織物等を使った「マスク」が県内各地で目見えしている。

館林では、日本遺産「里沼」にあやかり、「館林紬」で作られた「ヌマノマスク」を販売。綿100%で軽くさらりとした肌触りが特長。

群馬の伝統の織物等を使った「マスク」が県内各地で目見えしている。

館林では、日本遺産「里沼」にあやかり、「館林紬」で作られた「ヌマノマスク」を販売。綿100%で軽くさらりとした肌触りが特長。

培つた技術を生かし マスクを製造

県内織維産地



館林紬を使ったヌマノマスク(館林)

桐生地域においては、「桐生織」の生地を使った商品や、藍・草木染、抗菌・防臭加工など、バリエーション豊かなマスクを製造している。桐生織物協同組合では、組合員が製造するマスクの特長、問い合わせ



フィット感が高い3Dニットマスク(太田)

ホームページで紹介している。

また、二つの産地である太田では、無縫製の3Dマスクを製造。フィット感が高くストラップも同時に編み込むことで耳への負担を軽減するなど、着け心地に工夫を凝らしている。



マスクを紹介する組合ホームページ(桐生)